

令和 6 年度

あらかわにし

秩父市立荒川西小学校

栽培・勤労体験



じゃがいもの収穫・カレー作り



新嘗祭での
野菜の販売



道の駅での野菜の販売



大根の収穫

全校での取組

特 色

- 本校では、環境学習の一環として栽培活動に力を入れている。1学期は自分たちで育てた野菜を使ってカレーを作ったり、保護者に野菜を販売したりした。2学期には、学区内の神社や道の駅で、地域の方や観光客に野菜の販売を行った。
- 自分たちが育てた野菜を調理、販売する体験から、野菜を育てる、調理する、お金にすることの大変さや大切さを学んでいる。収益金の使途についても子どもたちで話し合い、縦割り班活動で使うストラックアウトボードを購入した。

児童の 感想

- 自分たちで育てた野菜を販売し、農業の大変さがわかった。
- 美味しいカレーができた。パプリカの収穫がカレー作りに間に合わなかったのが、来年はもっと早い時期に植付をしたい。

成 果

- 栽培・勤労体験を通じて、責任感や主体的に学ぶ態度、様々な物事への気づきを育むことができた。
- 子どもたちは荒川地区の豊かな環境の恵みに気づき、郷土愛を育むことができた。また、栽培活動の一連の流れを通して、持続可能な循環型社会の基盤を学ぶことができた。